

# 自己評価結果公表シート

2020年度

## 1、法人理念

三快五感の子育て

【三快】 よく食べ(快食) よく遊び(快遊) よく眠る(快眠)

【五感】 目 目を大きく見開き 遠くも近くもよく見る子  
耳 耳を澄まして 大小の音を聞き分ける子  
鼻 鼻を利かせ 善悪をすどく感じる子  
口 舌を生かし すいも甘いも理解する子  
手 手を使い なんでもよく体験する子

## 2、願う子どもの育ち

健康で明るい元気な子

不思議を探し、発見をいっぱいする子

うれしい時、かなしい時、人の気持ちがわかる子

## 3、保育方針

園内にある「まいまい山」は小動物や野鳥、昆虫が子どもたちを迎え入れてくれています。四季を感じられるたくさんの自然に囲まれて、子どもたちは小さな「命」に触れながら、自らの「命」を実感します。

子どもは一人ひとり成長の段階も、興味を持つことも様々。本園では、生きる力の源である意欲や自信を、一人ひとりの子どもと丁寧に関わることで育みます。

乳幼児期の子どもたちにとって「生活＝教育＝遊び」です。子どもの発達に合わせた遊びの環境を充実し、豊かな遊びの中で子どもが主体的に活動に取り組むことを大切にします。

## 4、「子どもの育ち」のために

- ・ 子どもが何に心を動かし、何を表そうとしているかを知り、表現する喜びを十分に味わわせるようにする。
- ・ 遊びや自然体験を通して、子どもが感動する場を大切にしていける。また、保育者も子どもと共に夢中になって遊びに取り組むことで、遊びを充実させていける。
- ・ みんなで遊ぶ場を設け、共に遊ぶ中で、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりする場を生かしていける。
- ・ 子どもの興味関心を把握し、季節や実態および狙いにあった環境を構成しながら、その場に応じた援助をする。
- ・ 遊びの中で少しでもできるようになったことを褒め、認めていくことで意欲を持たせていける。
- ・ 年齢に応じた基本的な生活習慣の実態を把握し、子どもが無理なく身に付けることができるような環境を工夫し、援助していける。

## 5、評価項目の達成状況

評価項目	評価項目詳細	職員の自己評価ポイント平均(3点満点)
I 園の基本姿勢について	教育・保育理念や目標の理解 認定こども園としての社会的責任の理解 子育て支援業務についての理解 発達の重要性を理解 職員として心構え 等	2.01
II 認定こども園教育・保育要領	第1章 総則	1.83
	第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項	1.92
	第3章 指導計画作成にあたって配慮すべき事項	1.72
III 園独自の取り組みについて	保育方針の把握 学園化構想に対する理解 内部・外部研修への意欲を持った積極的な参加 市・地域の事業へ園が積極的に参加していること等の理解 等	2.19

# 自己チェック評価表

	今年度の評価点	今年度の課題点	次年度への改善点
個人評価	視点		
	1、教育課程や指導計画等に設定した「目標」「ねらい」は達成できたか。また、前年の反省評価は生かされたか。 2、日々の教育・保育に必要な環境構成及び設定は適切だったか。 3、園児の状況に応じて柔軟な教育・保育ができたか。また、自身の教育・保育技術の向上を必要とした部分は、 4、保護者との連携は十分に取られていたか。 5、社会人として、また、教育・保育の専門家として資質向上に努め、成果を上げることができたか。 等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境認識を自分なりに楽しく考えて取り組むことができた。</li> <li>・“遊べない子”に対して、どのように関わるかを考え、くり返し対応できた。</li> <li>・日々変化する子ども達の興味関心の対応が追いつかず、“旬な時”を逃がしてしまう時があった。</li> <li>・個々の発達をより意識し、その子その時に合わせた関わり方を考え保育できた。</li> <li>・クラスの職員同士で話し合いをする際、提案をしたり要点をまとめたりして進めることができた。</li> <li>・保護者と必要に応じてコミュニケーションをとり、家庭と園で連携がとれるよう、子どもの姿を共有し、関わり方や援助の方向を統一していくことを意識した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外あそびの内容がもっと充実したものにできたらよかった。</li> <li>・働きかけの方法や手段、遊びへの発想力など引き出しを増やすことに課題を感じる。</li> <li>・担当児がより目に入りやすかったため、クラス全体の把握が不十分だったと感じる。</li> <li>・その日々の中で精一杯になってしまい、学ぶことの意識が低い。</li> <li>・発達に課題がある子が多い中で個々に合わせた遊びの提案、誘い方のレパートリーがまだ少ない。</li> <li>・季節に関する行事や自然物等の自分の知識が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課業をバランスよく楽しむ。</li> <li>・室内環境だけでなく、戸外環境も整えていく。</li> <li>・アンテナを高く持ち、子ども達が主体となって生活をしたり、遊べるよう引き出しを増やす。</li> <li>・個を大切にすると共にクラス全体の様子や課題を把握できるように見ていきたい。</li> <li>・一つの行動、一つの言葉の先を考えて保育する。</li> <li>・多くの職員と遊びの情報共有をしたり、子どもの遊びの姿をよく観察して遊びの提案を色々試して保育技術を高めていく。</li> <li>・声かけは適切だったかを自分の中で常に確認し、更なる室の向上を目指す。</li> </ul>
クラス運営評価	1、保育教諭等の中で必要な連携がとれていたか。 2、保育教諭等の中で必要な情報を共有できていたか。 3、主幹保育教諭等の上司と十分な話し合いの上で計画が作成できていたか。 4、クラスとして必要な記録を残すことができたか。 5、部屋の環境構成(物の配置等を含め)適切だったか。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児から進級する不安を予測し、安定した生活づくりを心がけた。</li> <li>・1号、2号の壁をなるべくなくすように心がけた。</li> <li>・職員間の連携は細目にとれていたと思う。子どもに関する共通認識や情報交換も幼児のみだけでなく、上司との会話の中でもできていたように感じる。</li> <li>・クラスの職員同士で保育室の環境、制作物の内容、子どもの様子等話し合いを行いながら保育を進めていくことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課業は基本的に自分が行うことが多く、一緒に考えることがなく、相談する余裕もなかった。</li> <li>・コロナの影響もあり、今年は特に保護者との関わりや小学校との交流があまりできなかった。</li> <li>・クラスの環境設定に関して話し合った際に課題はたくさん見つかるが、改善する方法が見つからず、結論を出すことに時間がかかる。</li> <li>・玩具の見合わせはしていたが、それが常に行われていなかったと思う。長く出しているが、あまり使われていない玩具もいくつかあり、その部分で話し合いが足りなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年少組の副担任のあり方をもう少し明確にする</li> <li>・異年齢を意識する。</li> <li>・他クラスの環境設定を参考にしたり、その玩具でどのような経験や発達が促されるかなどの共通理解する時間をつくっていききたい。</li> <li>・職員同士で視野を広くし、連携して見ていく事や子どもたちの危険を未然に防げるように気を付ける。</li> <li>・自分の中で悩んでいることがあったら、クラスの中でそれについてたくさん話し合うなど全体として連携をとっていく。</li> </ul>
園全体評価	視点		
	1、園全体として行事の内容及び運営は目標に沿って行われたか。 2、職員の研修内容とその成果は現場に反映されたか。 3、教育・保育内容の公表に努力をしたか。また、その方法は適切だったか。 4、小学校や地域の関係機関との連携に向けて必要な努力をすることができたか。 5、園全体としての今年度の教育・保育の目標やねらいは達成されたか。 等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々のクラスだけではなく、子どもの発達状況や援助方法などの情報の共有ができ、園全体で子どもたちの成長を応援できたように思う。</li> <li>・行事や保育内容についても計画に沿いながらも子どもの姿をとらえて、応答性のある実践へとつなげることができていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な変更点や共有すべき情報が統一できていない部分も見受けられた。</li> <li>・事故や保護者への伝達事項はもちろんだが、乳児・幼児といった部門ごとの変化や子どもの様子等についてもしっかりと共有できるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容の理解や課業の実践について園全体での理解をさらに高めていく必要がある。</li> <li>・新しい職員も迎える中で、基礎基本を園全体で再確認していく必要がある。</li> </ul>

<評価方法>  
 十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

### 集計結果

評価	1回目										ポイント		
	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×	◎	○		▲	×
回答人数	22 人												
I 園の基本姿勢について(10項目)	63	109	35	6									2.01
II 第1章 総則(35項目)	178	374	127	41									1.83
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(30項目)	160	342	100	13									1.92
第3章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項(20項目)	84	218	69	6									1.72
III 園独自の取り組みについて(5項目)	45	46	14	3									2.19
合計													1.93

### レーダー

